

第2回ふじみ野市立東台小学校

今後を考える「保護者・地域説明会」



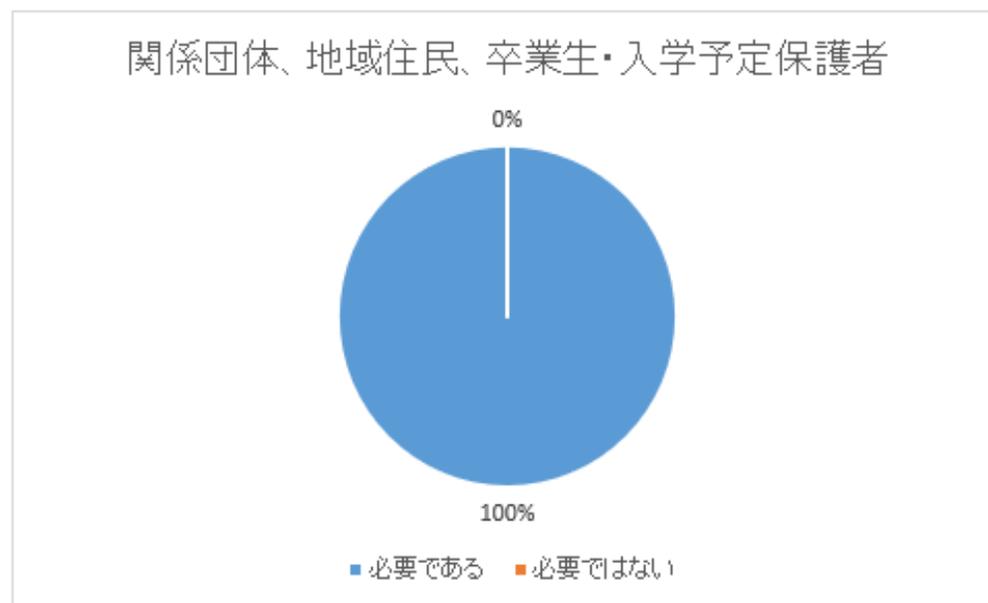
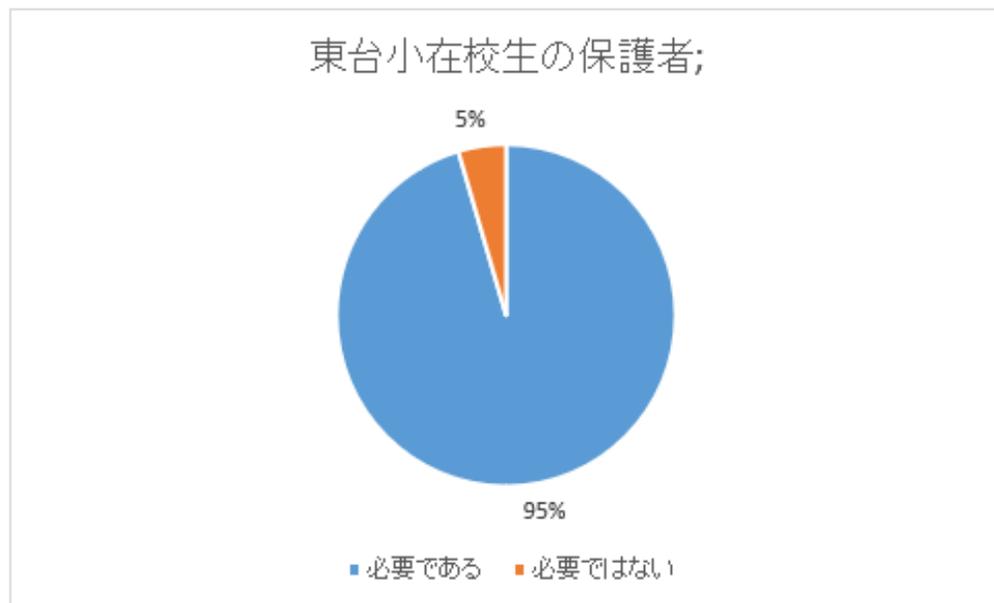
令和5年5月21日（日）

ふじみ野市教育委員会

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(1) 東台小学校の「学校適正規模対策の必要性」について

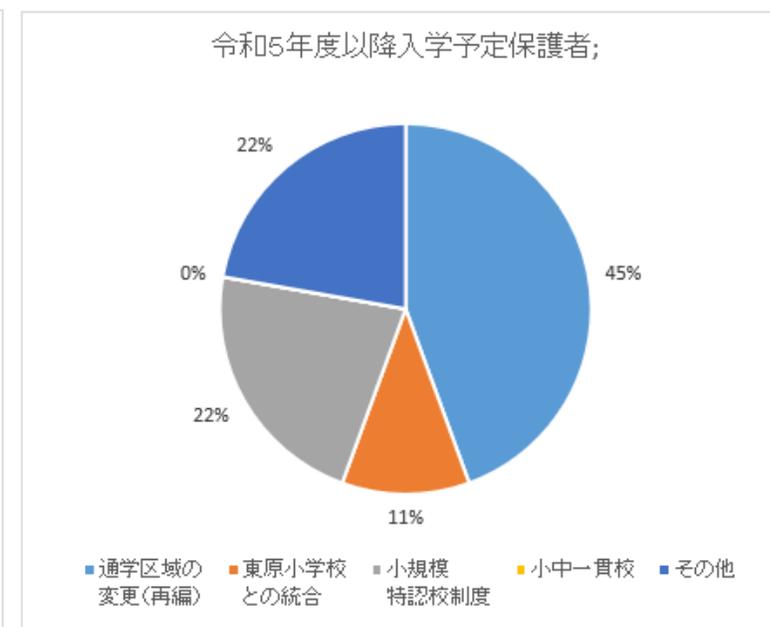
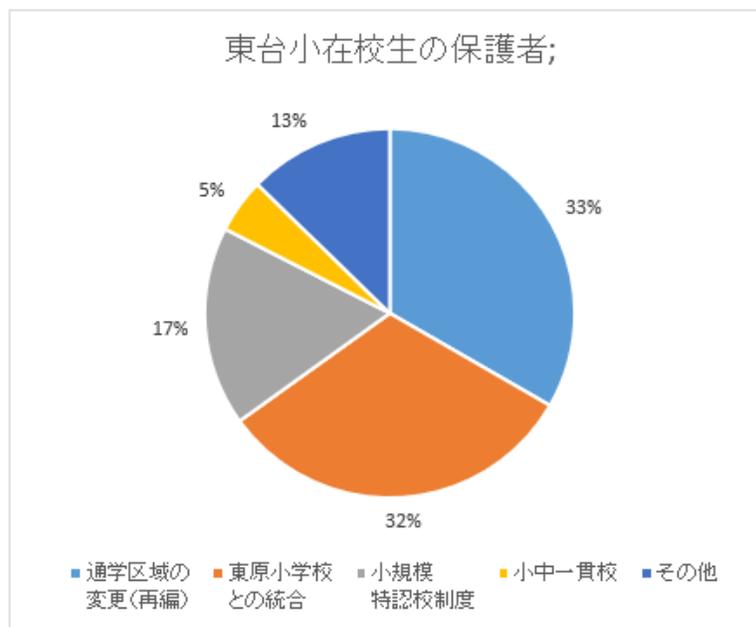
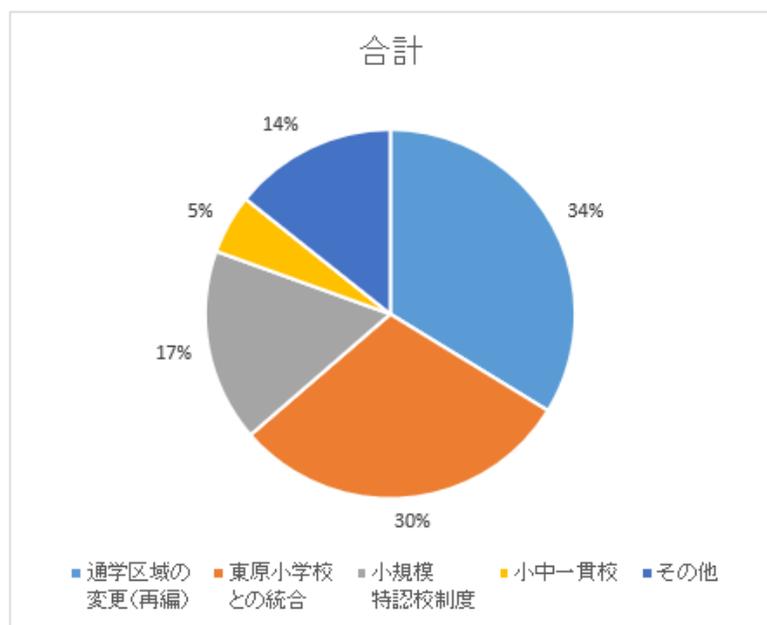
お立場	必要である	必要ではない	合計
東台小在校生の保護者:	63	3	66
令和5年度以降に東台小入学予定の保護者:	9	0	9
東台小卒業生の保護者:	2	0	2
関係団体（学校運営協議会、町会、学校応援団など）:	2	0	2
地域住民:	2	0	2
合計	78	3	81



第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(2) 東台小学校の「学校適正化規模の対策」内容について

お立場	通学区域の 変更 (再編)	東原小学校 との統合	小規模 特認校制度	小中一貫校	その他	合計
東台小在校生の保護者:	21	20	11	3	8	63
令和5年度以降に東台小入学予定の保護者:	4	1	2	0	2	9
東台小卒業生の保護者:	1	0	0	0	0	1
関係団体(学校運営協議会、町会、学校応援団など):	0	1	0	0	1	2
地域住民:	0	1	0	1	0	2
合計	26	23	13	4	11	77



第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(3) アンケートでいただいた主なご意見

No.	学校適正規模の対策	主なご意見
1	通学区域の変更 (再編)	少人数だからこそ目が行き届いていると思います。しかし1クラスが20人を下回ってしまったたり、男女の人数差が出てしまうのには心配です。学区を広げていただき(自由学区を設けるなどして選択できるなど)人数を増やしていただきたいです。
2	通学区域の変更 (再編)	小規模で縦割りの活動も多く、子どもたちにとって素晴らしい環境だと思います。放課後も高学年が低学年の子どもたちの面倒を見ながら仲良く遊んでいます。先生方も丁寧にご指導くださっています。勉強面だけではなく、生活面や社会性に関してもメリットの方が大きいと感じます。
3	通学区域の変更 (再編)	大井中学校の生徒のアンケートを拝見しましたが、東台小学校の出身で中学生になり1学級の人数が増えて困った、という回答が出ていなかったことが読み取れました。東台小学校を1学級最低25人くらいをキープできるよう学区を再編し、東台小学校を継続していただきたいです。
4	通学区域の変更 (再編)	今後、東原小学校と統合になると更に児童数が増え、指導が行き届きにくくなるのが想像できます。東台小学校の施設は素晴らしい環境なので、学区再編していくのが良いと思います。

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(3) アンケートでいただいた主なご意見

No.	学校適正規模の対策	主なご意見
5	東原小学校との統合	東台小学校は、東原小学校の児童数の増加を解決するためにできた小学校なので、児童数が減っている今、統合するのが1番だと思います。
6	東原小学校との統合	在籍している児童や今後入学する児童にとって、良い方向に向かう解決策を希望します。
7	東原小学校との統合	東原小学校との統合を希望しますが、最近マンションができていますので、今後子どもが増えると思われます。慎重に調査した上での決断をお願いします。小学校を卒業した後、同じ中学校になることも考えたら、統合した方が友達関係もスムーズに行くのではないかと思います。

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(3) アンケートでいただいた主なご意見

No.	学校適正規模の対策	主なご意見
8	小規模 特認校制度	1年生の保護者ですが、入学前までに東原小学校と統合してくれればと思っていました。しかし、入学後に通学先が変わる事を子どもは望んでいません。小規模特認校制度を導入しても人数が増えず、高学年になってから統合となることは避けてほしいです。
9	小中一貫校	学区を広げると遠くから通う児童の安全対策が必要となり、親としての不安や負担が大きくなる気がするので、あまり賛成ではありません。少人数の学校を認定して、中学校へ不安なく進学出来るようなサポートが必要と思います。

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(3) アンケートでいただいた主なご意見

No.	学校適正規模の対策	主なご意見
10	その他	将来的には東台小学校以外の学校も同様の状況が生じる可能性がありますので、今回が適切な前例となるよう熟議を重ねていただきたいと思います。個人的には児童数が少ないことを理由にした公立学校の削減には反対です。アメリカなどのホームスクーリングで学ぶ学生の社会性が欠如しているというデータは見たことがありません。結局は教育方法の工夫次第なのではないでしょうか。
11	その他	まずは「特認校制度」導入して適正規模の回復を目指し、並行して「小中一貫教育」を進め、大井中学校区内の児童生徒の日常的な交流を促します。以上を一定期間続けても成果が見られない時は「学区再編」や「東原小との統合」を検討してはどうでしょうか。東台小学校の特認校化には、高いハードルがありますが、それを見越して、最初から「学区再編」や「東原小との統合」へ決定を急ぐのではなく、保護者や地域住民の理解・協力を仰ぎ、トライしてみることが長い目で見て得るもの大きいのではないのでしょうか。

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(4) ご質問いただいた事項に関する教育委員会の回答・見解

No.	質問事項	回答・見解
1	今後、意見を言える場はありますか。	引き続きご意見等を頂戴できるよう、市ホームページ内に投稿フォーム等を設置いたします。
2	学校適正規模の見直しについての法的根拠を示してください。	学校教育法施行規則第41条において、学校の規模は、「12学級以上18学級以下」が標準とされております。東台小学校は、学級数が6学級の状況にあり、標準規模を大幅に下回る小規模校となっております。
3	統合した場合、東台小学校の跡地はどうするのでしょうか。	統合を決定した場合の跡地利用については未定です。都市計画法や建築基準法等に適合する施設が、検討されることとなります。

第1回保護者・地域説明会事後アンケート調査結果について

(4) ご質問いただいた事項に関する教育委員会の回答・見解

No.	質問事項	回答・見解
4	東台小学校の近辺に開発予定が無いのは何故ですか。	都市計画法により東台小学校がある区域の開発行為については、市街化を抑制すべき市街化調整区域として、学校や社会福祉施設など以外の開発行為が制限されております。
5	予算やスケジュール等を詳細に示して下さい。	小規模校の課題解決策が決定しましたら、具体的なスケジュール等についてお示しさせていただきます。
6	イエナプラン教育やモンテッソーリ教育（異年齢の子供たちを一つのグループにしたクラス編成を行うなどを特徴とするもの。）を取り入れてはどうでしょうか。	公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律や学校教育法施行規則に基づく学習指導要領により、1学級あたりの児童数や教育内容が定められていることから、公立学校において、お示しいただいた教育の実施は困難であると考えます。

皆様のご意見を申し上げます

